

第1回上越市観光地域づくりワークショップの実施報告

【実施概要】

- 日 時：令和元年9月3日（火）17時30分～20時（2時間30分）
- 場 所：高田公園オーレンプラザ 研修室・会議室
- 趣 旨：観光を取り巻く変化を捉え、策定段階から各主体の皆さんからも「ビジョン」について自由に意見を出し合い、互いの思いや考えの背景について探求し、相互理解を深め、参加者同士のつながりを創出してもらうことを狙いとして実施。

■参加人数：35人

- － 観光関係事業者（宿泊、飲食、施設、土産物、商店街、輸送等）
- － その他事業者（金融、IT、広告等）
- － 市民活動団体
- － 観光協会、各種団体（商工、農）、行政 等

■構 成

- ① 自己紹介タイム
- ② オリエンテーション（ペアワーク）
 - － あなたが経験した「よかった観光地」
「つまらなかった（がっかりした）観光地」、その理由
 - － あなたが旅行に行った時に最も楽しみにしていること
 - － あなたが旅行に行く前の現地情報の調べ方
- ③ グループワーク① 何のために「観光」に取り組むのか
 - － 私たちは何を求めて「観光」に取り組むのか
 - － 観光に取り組むことによる「効果」とは何か
- ④ グループワーク② 10年後どんな「観光地域」にしたいか
 - － 来てもらった人に対して・・・
 - － 住んでいる私たちにとって・・・
- ⑤ まとめ



～構成のポイント～

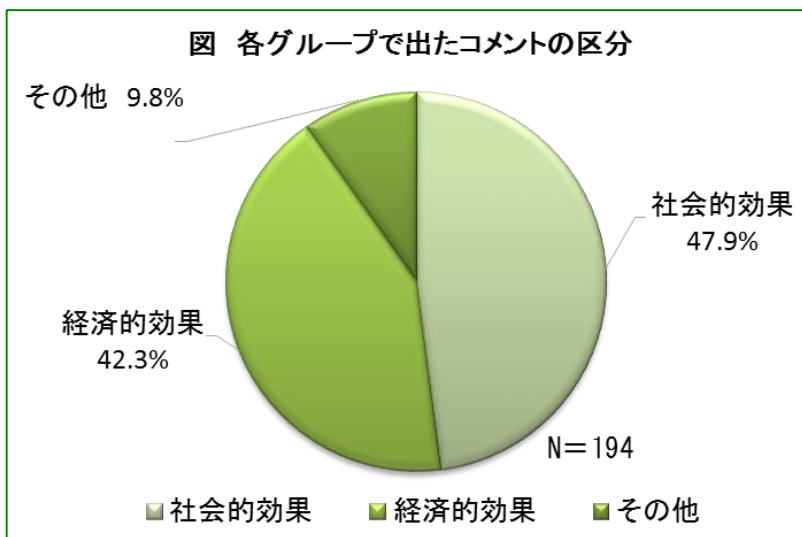
- 参加者1人あたりが、なるべく多くの人と対話ができるように、特にグループワークでは、ワールドカフェ方式（※）を取り入れた。
- ペアワークでは、自身が旅行に行くときのことを改めて思い出してもらいつつ、様々な立場の人と対話することで、共感する部分、また、異なる部分を意識してもらうような「問い」とした。
- グループワークでは、参加者の業種、性別、年代等を極力分散し、様々な角度や視点から話し合ってもらえるような雰囲気づくりに努めるとともに、多様な価値観があることを認識してもらうことを意識した「問い」とした。また、対話を通じて、それぞれの立場の参加者同士が次のアクションへと進むためのきっかけとして、「横のつながり」を築いてもらうよう意識した。

※ワールドカフェとは

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの場。

グループワーク① 何のために「観光」に取り組むのか

- 各グループで出たコメントを「社会的効果」と「経済的効果」に分類すると、前者が47.9%、後者が42.3%となり、市民が観光に求める効果のバランスは、均等に近いということが分かった。
- 主なコメントは、以下のとおり。



■ 「社会的効果」の主なコメント

- ・ わが町の素晴らしいところを知ってほしい
- ・ 地域文化の歴史の伝承（残していくため）
- ・ 自慢、わが町プライドを育てる
- ・ 交流人口を増やして刺激、元気をもらう
- ・ 地元を愛してもらう人を増やす
- ・ 将来上越に住んでもらう
- ・ 知り合いが増えることの喜び、人と人をつなげる

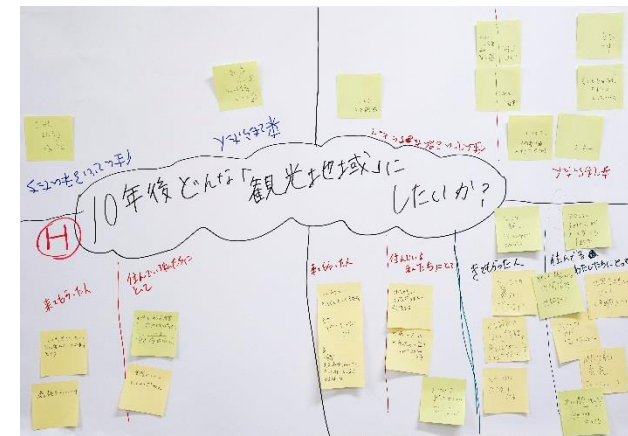
■ 「経済的効果」の主なコメント

- ・ 所得向上、外貨獲得、消費増加により暮らしを良くする（豊かにする）
- ・ 若い人が元気に働ける、雇用創出
- ・ 企業誘致、ビジネスの創造
- ・ 生業が観光以外の人を引き込む

■ 「その他」の主なコメント

- ・ 人に来てほしくない、静かに暮らしたい人も一定数いる

- 各グループで出たコメントの総数は203件で、そのうち「来てもらった人に対してどんな『観光地域』としたいか」の視点は94件、「住んでいる私たちにとってどんな『観光地域』としたいか」の視点は109件となった。
- 主なコメントは、以下のとおり。



■ 「来てもらった人に対してどんな『観光地域』としたいか」の主なコメント

- ・また来たい！と思えるように喜んでもらえる（リピーター）
- ・うらやましいと思ってもらえる、誰かに行ったことを自慢したくなる
- ・この地域を好きになってもらえる、ファンになってもらえる
- ・この町で観光ビジネスに取り組みたいと思ってもらえる、投資したいと思ってもらえる
- ・見るだけではなく、そこに住む人と交流できるような
- ・行きたいところにスムーズに行ける

■ 「住んでいる私たちにとってどんな『観光地域』としたいか」の主なコメント

- ・地域の良さをより実感できる
- ・地域のことを勉強して説明できる、人に自慢したくなる
- ・子どもたちが残りたいと思える
- ・地域の人が観光客に語ることでできる、誰に聞いても必ずひとつ以上良いところを話せる
- ・市内横の他地域と協力し合える、横のつながりが強い
- ・ゴミのないきれいで清潔感のある
- ・新しいビジネスが生まれる